　　　　2019年　　7　月　　9　日

氏名　　　　　權信榮

SW新人研修課題

―コマンド解析ツールの設計―

FT(Field trouble)が発生した際、どこに原因があるか特定する必要がある。

SWに原因があるのか調べるために、RLで生成されたコマンドが仕様書通りであるか確認する必要がある。

そこで、コマンドを解析する方法を提案して下さい。

※FW、HWに原因がある可能性があるため、実際にプリンタにコマンドを送ってプリントできるか？という評価は行えません。コマンドをPC上で解析する方法を提案して下さい。

以上

1. FT発生までのコマンドをマシンで読み取る。
2. FT発生までのコマンドをparsing
3. FTが発生するまでのlogによって実際に行う予定のコマンド作成
4. 3をparsing
5. それぞれのparsingの結果を比較
6. ２から作成されたfileと3から作成されたfile で異常なる部分をASCIIcodeへ変更。
7. ASCIIに変更されたコマンド、元のコマンドを集めerror flag storageなどへ保存する。

以降errorが発生した場合、error flag storageで同じerrorがないのかを確認し、ない場合1からまた初めerror flagを蓄積していく。

Errorの発生を特定できない場合、時間やメモリーが多くかかるかもしれませんがすべてを比較することが有効だと思います。

Error 取得コマンドを利用する。

コマンドのパラメータ部のデータを解析。ｒ1ではerror codeを解析、r2ではerrorに付属する詳細データを解析。

Error code listでr1のcodeを探す。